



国際酪農連盟日本国内委員会

Japanese National Committee of International Dairy Federation



IDF ホームページ / <http://www.fil-idf.org/> / ファクトシートより

*IDF 文書を JIDF 事務局が仮訳*

## IDF カントリーレポート

2014年5月

IDF 酪農政策・経済常設委員会 (SCDPE)

IDF ファクトシート 2014年5月

IDF 酪農政策・経済常設委員会 (SCDPE) 委員は、2014年3月－4月までの過去6カ月を扱う16カ国のカントリーレポートを提出しました。このファクトシートは、2014年4月29日、米国のミルウォーキーで開かれたSCDPEでのカントリーレポートを要約したものです。

### 生乳生産

最近の生乳生産はオセアニアを除いて世界のほぼ全ての地域で増えました。もっとも力強く伸びた欧州共同体では、生乳生産が燃料価格、飼糧価格および肥料価格の小幅ではあるが値下がりに恵まれ、英国 (12%)、ドイツ (4.5%) オランダ (4.4%)、デンマーク (3.9%)、およびフランス (3.5%) となりました。フランスでは春季の生乳生産が昨年対比約 10%の勢いで増加しています。同じ期間にインドとイスラエルの生乳もそれぞれ 5.5%および 7.1%増えました。顕著な減産を見たのは、日本(-3.7%)とオセアニア(-2.1%)でした。北米地域では米国において 1%の増産、カナダにおいて 1%の減産でした。生乳生産は世界の大半の地域で安定または増加が予想されます。しかし、インドにおいて例年より長期化したモンスーンが今後の数か月間、生乳生産に悪影響を与える可能性があります。



IDF ホームページ/<http://www.fil-idf.org/>ファクトシートより

## 戸口乳価、卸価乳価および小売乳価

世界的に見て、戸口価格は強くあがりました。特に強く上昇した国は、米国(26%)、オーストラリア(22.5%)、デンマーク(22%)、フランス(19.6%)、アイルランド(19%)、ドイツ(18.5%)、英国(12.9%)、オランダ(11.5%)、イタリア(9.1%)およびインド(8.4%)でした。これらの戸口価格は世界の大部分の地域で投入原料価格の増加にまさりました。米国では多くの地域で現在の農場価格と収益性の記録が更新されました。イスラエルとニュージーランドだけが1年前よりも農家戸口価格がそれぞれ4.7%と3.4%下がりました。数か国の農家戸口価格の伸びは今後数か月で鈍化すると予想されます。

概して、昨年の卸売価格は比較的高く推移しましたが、2014年初頭から弱含みで動いています。数か国では飲用乳量の処理量が継続的に低下していますが、バターとチーズの生産は上げ潮基調にあります。但し、英国では昨年9月以来20%の減産が進んでいます。フランスでもバターの生産が3%低下しました。日本では昨年に比しバターと脱脂粉乳の在庫が減りました。数か国では輸出量が増加しました。米国では増産量の半分以上が輸出貿易に向けられました。英国とイタリアでも輸出向けがそれぞれ15%と7%増加しました。

主要な乳製品の小売価格は報告を受けた全ての国で微増傾向(2%以下)を維持しましたが、ドイツの小売価格は例外的にほぼ3%上がりました。同じ時期に、アイルランドの小売価格は2%下がりました。フィンランドとデンマークは飲用乳の価格が15-20%の範囲で強く上昇しました。米国の飲用乳価格が高くなったのは、農場価格と卸売り価格の値上がりは反映したのですが、その他飲料の増加、特にアーモンド飲料が飲用乳の売り上げに影響を与え始めています。

乳製品の消費傾向はほとんどすべての地域で上向きですが、特にバター、チーズおよびヨーグルトで顕著です。カナダではギリシャ風のヨーグルトが消費者の間で人気を博し、ヨーグルト市場全体の17%を占めるまでになりました。

## 業界の展望



# 国際酪農連盟日本国内委員会

Japanese National Committee of International Dairy Federation



IDF ホームページ / <http://www.fil-idf.org/> / ファクトシートより

欧州連合は、2015年4月1日の割当制度の漸減的廃止に向けて、商機を世界市場に求める動きを加速しています。特にデンマークにおいては、環境、輸出、研究開発、技術革新および投資への取組みを含む農業食糧セクターについて一連の成長戦略を講じるという政治的な合意に達しました。英国では2014年末までに金額ベースの乳製品貿易赤字を解消する目標を立てました。

過去6カ月間、酪農乳業の構造改革（リストラ）が継続され、特に乳業において大規模な投資と統合がありました。フランスでは数件の投資活動がありました。中国の企業集団 Biostime によるインファントフォーミュラへの50百万ユーロの投資、L'Ermitage 農協によるチーズとホエー生産への55百万ユーロの投資、Euroserum (Sodiaal 社の子会社)による乳児用粉乳原料となる脱塩ホエー生産に60百万ユーロの投資、Eurial によるピザ用モツアレラチーズ生産設備に12百万ユーロの投資がありました。

さらに、フランスでは Sodiaal、3A Co-op および Lacopab の合併がありました。もうひとつの合併は Breton Co-op、Eurial および Senegral が関与するものでした。アイルランドでは、Mondelez によるチョコレートクラムス生産設備への3.5百万ユーロの投資および North Cork Co-op による乾燥機に5百万ユーロの投資がありました。

オーストラリアでは、Parmalat が Harvey Fresh を買収しました。オランダでは投資活動が2件ありました。すなわち、Arla による9.7百万ユーロと German Hochwald による4.6百万ユーロの投資です。ニュージーランドのフォンテラはワイトアに120百万ドルのUHT乳の投資、数件の新規乾燥機建設への投資を行いました。カナダでは、Saputo がオーストラリアの Warrnambool の88%を買収しました。Maritime の乳処理事業は Agropur と Saputo が経営を支配しました。オンタリオ州の Gay Lea Coop も Salerno Dairy を買収しました。

## 酪農政策の展望

米国では2014年農業法が議会を通過しました。この新しい農場法により酪農生産者は全米レベルのベンチマークに対して飼糧原価を上回る収入が確保されますが、その一方でミルク収入損害契約 (MILC) と反周期支払制度が2014年秋に廃止されま



IDF ホームページ/<http://www.fil-idf.org/>ファクトシートより

す。新しい政策には、最悪のマージンを想定した乳製品募金プログラムが含まれます。連邦ミルクマーケティング指令制度 The Federal Milk Marketing Order は継続されません。

ノルウェーでは、新しい内閣が市場統制制度を分析する委員会を立ち上げました。政府当局と生産者の間で、5月1日を起点とする交渉が始まり原価効率の上昇をもたらすことが可能な別制度の導入を目論んでいます。

貿易の前線では、多様なカントリーレポートのなかにWTO交渉に触れた事象はありませんでしたが、二国間交渉が完結した国や地域が数件ありました。すなわちオーストラリアー韓国、オーストラリアー日本、ニュージーランドー台湾、ニュージーランドー中国および香港、ニュージーランドーロシアおよびアセアン、カナダーEUです。環太平洋戦略的経済連携協定 (TPP) 交渉が進行中で米国とEUの間でも自由貿易協定(T-TIP)の討議を開始しました。

オーストラリアでは、食品包装容器に健康星印で栄養を等級表示する仕組みが同国政府により承認されました。

ニュージーランドの報告書では、ホエー濃縮物に関する汚染事象政府調査が2013年12月に発表され、同国の食品安全法制モデルが国際的な原理原則に即応し、世界でも最善の法制モデルのひとつと評価されました。一方、ニュージーランド政府は中国のような重要な新興市場への対応能力を再強化するために年間8-12百万ドルを割り当てると約束した。

アイルランドでは、農業・食糧・海洋省は、「持続可能な乳製品保証計画」と呼ばれる国家的な持続可能性と品質保証計画を立ち上げました。家畜の健康と福祉、品質および環境を含む20件の施策をモニターします。

要約すると、農場戸口価格の上昇、飼糧価格の下落、比較的良好な気候のなかで強い生産刺激施策が世界中でとられていますので、現在と中期的な世界の乳製品状況は楽観的といえます。全体的には乳製品需要は力強さが持続し、小売価格の値上げはインフレと同等程度か低い場合さえあります。不確実な点は主に、ここ数カ月前から始ま



IDF ホームページ/<http://www.fil-idf.org/>ファクトシートより

った市場調整の大きさやEUと米国の新しい施策に伴う環境変化が今後数年間の乳生産にどの程度まで刺激するかに依存するといえよう。

翻訳：JIDF事務局

*编者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。*